

世界の費用対効果分析マニュアルとの比較について

1. 比較検討をした海外のマニュアル

1) アジア開発銀行でのマニュアル

【Guidelines for the Economic Analysis of Projects】 1997

———関連記載箇所———

Appendix 9: Economic Valuation of Project Output and Input

3. . . The competitive market model provides a framework for valuing project output. . .

(競争的市場のモデルは、プロジェクト成果を評価するための枠組みを提供している.)

2) 欧州での輸送費用便益分析マニュアル

【HEATCO】: Developing Harmonised European Approaches for Transport Costing and Project Assessment (2006)

(交通原価計算と事業評価のための統一欧州アプローチの開発)

———関連記載箇所———

2. Transport Cost Benefit Analysis

2.9 . . The measurement of the additional benefit due to imperfect markets is difficult due to the risk of double counting benefits. . .

(不完全市場として付加的便益を測定することは、利益の二重計上のリスクの点から困難である.)

注) HEATCO(2006)とは

T E N (Trans European Network)プロジェクトの評価のための統一ガイドラインとして、E U加盟国とスイスでの実務分析に基づきE C資金による研究プロジェクトとして実施された。

2. 比較検討の結果

・これらのマニュアルでは、本委員会での「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」と同様に競争的な市場原理が働いていることを前提に消費者余剰を計測している。